令和6年7月25日

阿賀野市議会議長 市川英敏様

社会厚生常任委員会委員長 大滝 勝

所管事務調査報告書

本委員会は、令和6年第4回議会定例会において議決を経た、閉会中の所管事務調査を下記のとおり行ったので、会議規則第110条の規定により報告します。

記

○所管事務調査

- 1 調査事項 阿賀野市歴史民俗資料館の現況と今後の在り方について
- 2 調査期日 令和6年7月25日(木) 午前9時30分
- 3 調査経過

令和6年7月25日、保科総務部長、吉川民生部長、山寄高齢福祉課長、塚野生涯学習課長、吉川消防本部消防長並びに担当職員の出席を求めて本委員会を開催し、調査事項について担当課長から説明を受け、阿賀野市歴史民俗資料館の現地調査、質疑・意見集約を行いました。

4 調査結果

展示状況について

歴史民俗資料館は、閉校となっていた旧山手小学校に市内各地区の旧資料館、旧博物館等の資料を集めて令和3年4月に開館し、令和6年度で4年目となります。

1階には、市ゆかりの人物紹介をはじめ、市内各遺跡からの出土品など発掘調査の成果を公開している地質・考古展示のほか、豊富な資料をテーマごとにご覧いただけるように、「焼物」「学校」「暮らし」「農業」の4室からなる展示、また、産業展示として「瓦」の展示など、全6空間の展示公開をしています。昔の暮らしを懐かしむ展示では、阿賀野市の古くからの暮らしを表現し、小学校3年生等の総合学習にも対応した展示にしています。

2階、3階は、民具をはじめ豊富な資料を「収蔵展示」として各種分類ごとに整理を行い、学校の総合学習や収蔵庫展等の企画展に活用しています。

開館案内について

開館は、4月から11月までの土・日・祝日。午前9時30分から午後4時30分です。5人以上で1週間前までに予約をすれば、平日でも観覧可能です。

企画展について

毎年度、企画展を実施しているほか、吉田東伍記念博物館等と連携をとり、市の歴史講座を実施しています。

入館者の推移について

入館者の年間合計数は、令和3年度が810人、令和4年度が932人、令和5年度が751人となっています。

令和4年度の企画展が新潟県と下越の5市町村の合同で開催したもので好評だったため入館者数が増えましたが、令和5年度は夏場の猛暑が影響し、入館者数の減少になったと考えています。施設が旧小学校を利用しているためエアコン等の設備がなく、そのような状況での開館のため、そのことも影響していると考えています。

来館者の割合については、開館当初は市内からの来館者が6割ほどでしたが、現在はおおむね市内からと市外からの来館者が半々の状況です。

今後について

利用状況の推移から、多くの利用者がいるとは言えないなかで、来館者のアンケート調査では、「予想以上に展示物が多くて楽しめた。」「様々な展示があり興味深い。見ごたえがあった。」等、非常に好意的な意見をいただいています。「また来たい。」と言ってもらえる施設にもなっています。

旧小学校を利用しているので、施設の整備や体制の充実を図るための検討をしながら、今後の資料館の方針等を定めていきたいと考えています。

委員からの質疑

- ・夏休みである7月、8月の入館者数が減っている現状をどのように分析しているか。
→企画展等もこの時期に重なるように実施しているが、エアコンがないので快適な環境でなく、猛暑への対応が不足していると考えています。
- ・企画展は何人のスタッフで企画しているのか。
→メインで企画しているのは1人。その他、職員やシルバー人材センターから派遣してもらっている方で協力して制作しています。
- ・看板はあるが分かりづらい。国道からでも分かりやすく入りやすい看板を設置してはどうか。
→看板は入口の両側にありますが、電柱に設置してあり目立つとは言えないので、設置については今後検討していきます。

- ・水車等を補強や作り直したり、瓦の受け型を使って実演できるようにしたりするとよいのではないか。
- 体験できるもの、見れるものなど、動きのあるものを検討していきます。

5 委員会意見

資料館の展示・企画等については、リニューアルして様々な工夫がされており、見やすくなって大変良くなっている。エアコンがないことでの施設面の問題はあ
るが、まずは資料館を知ってもらうことが大切。来てもらうことができれば、良
さは分かってもらえると思う。看板の設置方法や実体験ができるような展示内容
を取り入れることについて、今後検討してほしいと意見集約されました。

以上、社会厚生常任委員会の所管事務調査の委員長報告といたします。